

# ひがしっ子

No.8 平成 26 年 10 月 3 日発行

文責 学校長 小笠原哲司

## 6年生、立派な態度で

### 修学旅行を無事に終了

6年生の修学旅行が9月17日(水)から2泊3日で実施されました。

1日目は、広島での平和学習。「原爆の子」の像の前でセレモニーを行った後、平和記念資料館を見学し、語り部の方から被爆体験の話をお聞きしました。バスガイドさんが涙ぐむほどの感動的なセレモニーでした。



2日目の「キッザニア甲子園」では、子どもたちが消防官・調理師・デザイナー・自動車整備士・宅配業者・寿司職人など、様々な職業のコーナーに分かれ、講師の指導を受けながら模擬体験をしました。

そして最終日は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで楽しみました。新アトラクションの「ハリーポッター」に乗ったり、魔法の杖を土産に買った子どもが多かったようです。

3日間を通して、6年生の子どもたちはマナーを守って行動ができ、話の聞き方や挨拶の仕方などもたいへん立派でした。



## 感謝を込めて ありがとう集会

地域ぐるみで子どもを育てる活動や、安全を見守る活動などをしてくださっている皆さんを学校にお迎えし、9月26日(金)に「ありがとう集会」を行いました。まず「ドレミファ集会」に参加していただき、子どもたちの歌や演奏による『ふるさと』を聴いていただきました。その後、出席して下さった皆さんを紹介し、児童代表が花束を贈り、代表して山下文雄さんから子どもたちへのメッセージをいただきました。

〔集会に来てくださった皆さん〕

山下文雄さん・甲籐芳隆さん・中野和代さん  
藤原久子さん・浜田寿子さん・池上博之さん  
田中雪子さん・西村艶子さん・大山博幹さん  
西田そのさん・大川邦子さん・森本多賀子さん



## 給食費の集金について

10月分の給食費の集金は下のとおりです。引き落としができるようご準備をお願いいたします。

10月給食費振替日 10月20日(月)

うしお	21回	5,250円
1～4年	21回	5,250円
5年	20回	5,000円
6年	21回	5,250円

## 2年生学年行事、バターづくり

9月5日（金）は、ひまわり乳業のご協力のもと2年生のPTA学年行事として「バターづくり」が行われました。牛乳、生クリーム、塩水の材料を容器に入れてよく振り、手作りのバターを作って試食しました。



## 3年生、アイマスクを体験

9月17日（水）は、社会福祉協議会のご協力をいただき、3年生のバリアフリー教室が実施されました。目の不自由な方の体験談や、どのような援助をすればよいのかについてお話を聞いた後、アイマスクをつけて実際に体験をしました。



## 4年生、鯉のタタキ作りを体験

9月29日（月）、4年生は鯉を料理して薫焼きタタキを作る体験学習を行いました。でき上がったタタキは、給食と一緒にいただきました。「おいしい」と歓声をあげながら、おかわりをして食べていました。



## 独唱コンクール、入賞おめでとう

9月7日（日）に丸の内高校で行われた独唱コンクールで、次の皆さんが入賞しました。

- 【優秀】 土井夕菜（3年）・堀 琴葉（4年）  
黄 珠音（6年）・成岡光夏（6年）
- 【優良】 川上明日香（4年）・森 碧風（5年）

## 学力調査の結果から

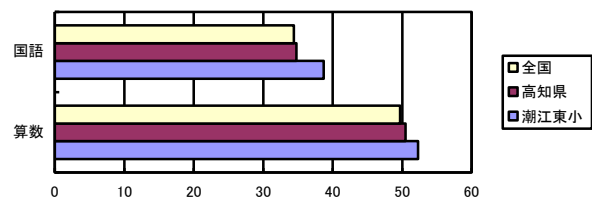
高知市では、毎年、2～5年生を対象に標準学力調査（国語・算数）を実施しています。また6年生については、全国学力・学習状況調査が実施されており、国語・算数ともに、基礎・基本の定着度をみるA問題と、思考力・活用力をみるB問題に分かれています。本市では、学校ごとの数値は公開しないことになっていますので、傾向をご報告します。下表のとおり、2年生の算数のみ全国平均並み、その他の学年は全て全国平均を上回る結果となっています。

	2年	3年	4年	5年	6年A	6年B
国語	△	△	△	△	△	△
算数	≒	△	△	△	△	△

△全国平均以上    ≒全国平均並み    ▼全国平均以下

## 書く力・思考力が向上

全国学力調査のB問題では、「○○を入れて理由を書きなさい」といった記述式の問題が国語で3問、算数で5問出題されています。この記述式問題の正答率をみると、下のグラフのように、両教科ともに本校の6年生は、全国、高知県の平均を上回りました。



また、「国語の授業で意見を書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか」の設問に対し「当てはまる」と答えた児童の割合は、全国平均を12.1%上回っています。（全国平均29.0%、本校41.1%）

## 地道な取り組みの成果

短作文・音読・視写など、学校ぐるみで言語能力を育てる取り組みを継続している成果が、この結果からも見てとれます。児童の思考力や活用力は、一朝一夕の取り組みで身につくものではありません。今後も、一人ひとりの児童が思考したり身についた力を活用したりする教育活動を地道に積み上げていきたいと考えています。